

府民公募型整備事業委員会（京都市域）開催結果

日 時 平成27年8月26日（水）9：30～11：30
 場 所 御所西京都平安ホテル 3階 羽衣の間
 委 員 同志社大学政策学部教授 今川 晃（座長）
 京都商工会議所産業振興部長 才寺 篤司
 京都市建設局長 藤原 正行（代理出席 宮川土木技術・防災減災担当局長）
 京都府総務部長 志田 文毅（代理出席 辻村副部長）
 京都府建設交通部長 東川 直正（代理出席 太田副部長）
 京都府教育委員会管理課長 段野 裕之
 京都府警察本部交通規制課長 山田 信之

1 提案状況について

応募状況について報告

- ・京都市域 129 件 （建設関係 50 件、警察関係 64 件、教育関係 14 件、その他 1 件）
- ・府内全体 1,903 件 （建設全体 1,534 件、教育関係 39 件、警察関係 314 件、その他 16 件）

2 事業採択・事業実施報告について

府民提案型事業 99 件について事務局案を提示し、意見を聴取した。また、市町村協働型について、建設案件 1 件について報告を行った。

施設区分	提案総数		今 回 分			
	府民提案型	市町村協働型	府民提案型		市町村協働型	
			事務局案			
			実施する	実施しない		
建設関係	50	1	50	45	5	1
安心・安全整備	45	1	45	42	3	1
景観整備（美化）	5	0	5	3	2	0
教育関係	14	0	9	8	1	0
安心・安全整備	13	0	9	8	1	0
景観整備（美化）	1	0	0	0	0	0
警察関係	64	0	40	10	30	0
安心・安全整備	64	0	40	10	30	0
景観整備（美化）	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	1	0	0
安心・安全整備	1	0	0	1	0	0
景観整備（美化）	0	0	0	0	0	0
全 体	129	1	99	63	36	1

《委員からの主な意見》

○建設交通部案件

- ・本事業は単年度事業。他事業で実施する提案も今年度内に実施するのか。
→今年度内に実施する。
- ・受付番号28番の兼用工作物について、道路管理者（京都市）へ情報提供されているのか。
→既に京都市へ情報提供を行っているところ。

○教育案件

- ・受付番号58番について、正門前の歩道に駐車するのは法令上問題がある。
→昭和時代に建てられた門の多くが同様の作り。昔は正門を閉めていなかったが、現在は保安上の理由から閉めているので順次建て替えを行っているところ。

○警察案件

- ・信号機柱を設置する場所がないため実施しないと判断されているが、交通事故が増えていることから、代わりとなる安全対策はないか。
→カラー舗装が考えられ、道路管理者である京都市へ要望しているところ。
- ・交通量が少ないことなどを理由として信号機を設置しないと判断されているが、基準はあるのか。
→警察庁の指針では主道路ピーク1時間300台とされ、道路構造令では主従合わせて1,000台以下であれば一時停止規制で対応できるとされている。その他横断タイミングや見通しも含めて総合的に判断している。

○全般

- ・今年の提案が多い理由は
→3年連続の災害を受けて府民の関心が高まったと考える。
- ・募集が1か月延長された理由は
→自治会の役員改選が4、5月にあり、府民から募集期間を延ばして欲しいとの要望があったため延長した。来年度以降、募集を2か月とするなら周知の仕方を工夫する必要があると考える。
- ・募集期間を2、3月とすれば工期を多く取れ、年度内に完成できる案件も増えると考え。
→議会で予算の承認を得なければ募集することはできないため4月からとなる。
- ・技術審査で実施すると判断されたものは予算措置されているのか。
→不足分は補正予算を要求している。
- ・本事業を通じて地域との対話は進んでいるのか
→進んでいる。